

環境建設工学科OB/OGの声 ～活躍する先輩たち～



吉村 研人（よしむら けんと）さん

2014年3月学部卒業（一般コース）

2016年3月修士修了

勤務先：独立行政法人 水資源機構

所 属：長良川河口堰管理所 環境課

先輩に聞きました！

今の仕事を目指したきっかけ

ダム等の構造物と河川生物との関係を調査する研究をしていたため、その経験を生かせる仕事がしたいと思ったから。

現在の担当業務

岐阜県と三重県を流れる長良川の水質、生物、底質、地下水など環境に関する業務の発注及び監督。



採捕したアユの稚魚を計測しています。長良川河口堰では毎年春にたくさんのアユが遡上しています。



施設見学のイベント時。このような格好をして一般の方に施設や生き物の説明をすることもあります。

やりがいを感じているところ

規模の大きな仕事ができることにやりがいを感じる。

忘れられない失敗談

発注が間に合わなくなりそうになったことがある。

社会人になってから学んだこと

公共事業の発注の仕組み。プライベートではお金の大切さ。

休日の過ごし方

映画を観たり車で出掛けたり。愛媛に遊びに行くこともあります。

これからの目標

ダムの建設・維持管理に詳しい人材になること。

保有資格や技能等、取得の目標

技術士を取りたい。

大学時代に力を入れたこと

ほぼ部活しかしていませんでした。ただ大学院に入ってからには研究に没頭しました。

大学時代に学び仕事に役立っていること

卒論・修論の書き方。これがそのまま仕事での報告書の書き方になります。

後輩への熱いメッセージをどうぞ！

大学の講義に無駄はないです！そのまま仕事に生きることは少なくとも、多少なりとも物事の背景を知っておくという意味ではとても大切だと思います。仕事ではスピードが求められるのでそこまで広範囲に学ぶ暇がありません。

プライベートに関しては、社会人になると忙しいので、学生のうちにやりたいことはたくさんやっておいた方がいいです。海外に行ってもいいし、ドラマを観てもいいし、四国八十八カ所を巡礼してもいいです。とにかく時間をたくさん使って好きなことをしてください。

就職活動については、多くの会社で特に面接を重視していると思います。水資源機構でもコミュニケーション能力が重要だと感じる場面が多くあります。上司に仕事の報告をするときや、受注者と協議をする際はもちろんですが、地元の漁師や農家の方、さらにイベント時には子供から大人まで多くの市民に事業についてわかりやすく説明する必要があります。面接の際には、自分の研究内容や入社した後にやりたいことなどを、はっきり受け答えが出来るように準備しておくとういと思っています。

プロフィール

吉村 研人（よしむら けんと）さん

出身県・高校：北海道・釧路湖陵高校

卒論テーマ：流量データ解析による四国内河川の攪乱レジームの評価

修論テーマ：国内河川において攪乱レジームが

底生動物の種多様性に及ぼす影響

サークル・部活動：アイスホッケー部、書道部

卒業年：2014年3月学部卒業（一般コース）

修了年：2016年3月修士修了

吉村 研人さん

勤務先：独立行政法人 水資源機構

所 属：長良川河口堰管理所 環境課